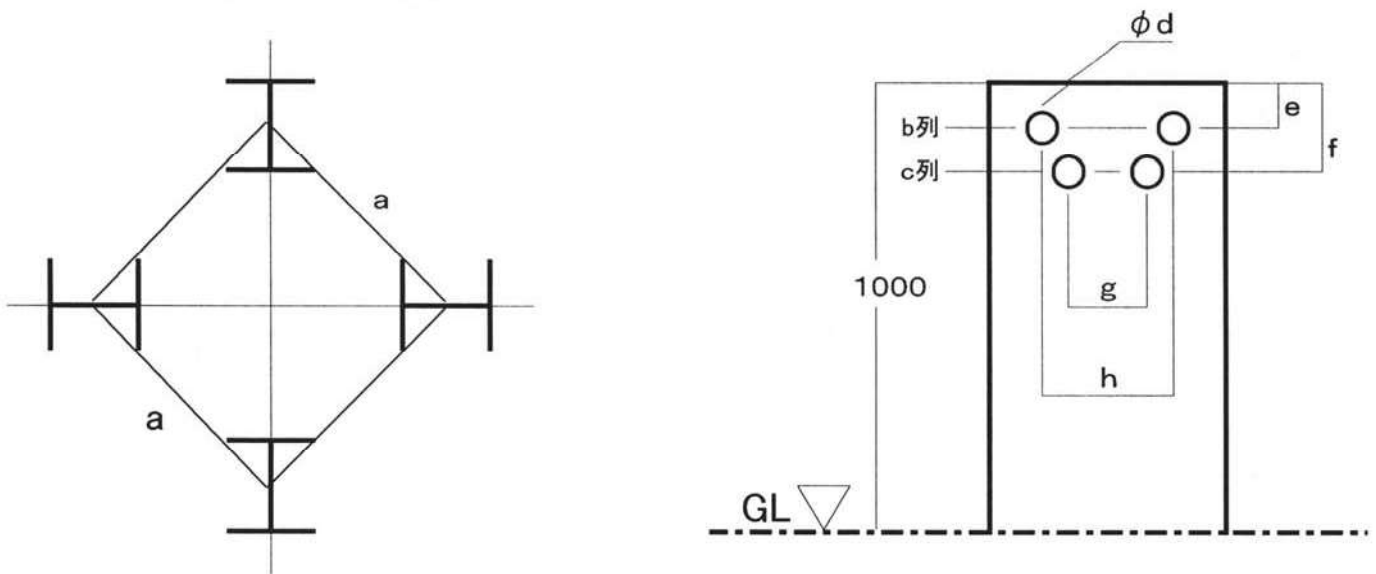


# 杭上ブラケット施工手順書

## 1. 手順及び注意

- ① H鋼杭を、規定寸法(下表:a寸法)に打つ。H鋼の向き確認  
 ※H鋼杭のウエブとベースフレームのウエブの左右のズレは、H鋼杭幅内にベースフレームが収まる範囲内とする。
- ② H鋼杭の首だしを、GL+1.5m程度取り、GL+1mになるよう4本の杭天端を切断してレベルを合せる。  
 ※レベル差で2mm以内に収めること。  
 ※H鋼杭が斜めに打設されてしまった場合は、杭頭を水平に切断して対応。  
 但し、②項目をクリアすること確認。
- ③ H鋼杭頭の規定位置(下表e.f.g.h)にホルト穴をあける(個数一下表b列c列)  
 ※JIS1001に規定するところの、3(4)級穴径(下表:d)以内に収めること。(キリ穴・ガス穴問わず)
- ④ H鋼杭側面に、ブラケット材をボルト結合する。  
 ※取付ボルトは、所定のトルク(下表:i)で締めること。
- ⑤ H鋼杭頭に天板を載せ、ブラケット材とホルト結合する。  
 ※取付ボルトは、所定のトルク(下表:i)で締めること。
- ⑥ 天板の上に、ベースフレームを載せ、さらにその上に、押え金具を載せて、カンザシボルトにて固定する。  
 ※ベースフレーム上面のマスト取付面部分のレベル差が、1mm以下にならない場合は、レベル調整用ライナーを使用すること。



## 2. 寸法表

型式	H鋼サイズ(mm)	a(mm)	b列(個)	c列(個)	$\phi d$ (mm)	e(mm)	f(mm)	g(mm)	h(mm)	i(kg.m)
JCL-015 JCL-021	H300×300×10×15	2800	4	—	26	60	—	100	210	40
JCL015高自立 JCL021高自立	H350×350×12×19 H400×400×13×21	3300	2	2	38	120	220	140	220	160
JCL-022	H350×350×12×19 H400×400×13×21	3300	2	2	38	120	220	140	220	160
JCL-030	H350×350×12×19 H400×400×13×21	3300	2	2	38	120	220	140	220	160